第36回日本認知症学会学術集会（一般演題用）　演題登録   
  
  
以下のデータが登録番号 20018 で登録されました。   
【確認・修正画面】にて、データが登録されていることを必ずご確認ください。   
ご不審な点がございましたら大会事務局までお問い合わせください。   
  
ブラウザーのバグまたはUMINプログラム修正に伴うバグの新規発生等により稀に   
登録完了のメールが届いたか、または登録完了の画面が表示されたのに、登録が   
完了していないことがございました。登録後は、必ず登録番号とパスワードを用   
いて、確認画面から、登録されているか確認を行っていただけますようお願い致   
します。   
---   
登録番号:20018   
(1)報酬額[該当の状況](本人):無   
(1)報酬額[該当企業名](本人):   
(1)報酬額[該当の状況](親族):無   
(1)報酬額[該当企業名](親族):   
(2)株式の利益[該当の状況](本人):無   
(2)株式の利益[該当企業名](本人):   
(2)株式の利益[該当の状況](親族):無   
(2)株式の利益[該当企業名](親族):   
(3)特許権使用[該当の状況](本人):無   
(3)特許権使用[該当企業名](本人):   
(3)特許権使用[該当の状況](親族):無   
(3)特許権使用[該当企業名](親族):   
(4)講演料[該当の状況](本人):無   
(4)講演料[該当企業名](本人):   
(5)原稿料[該当の状況](本人):無   
(5)原稿料[該当企業名](本人):   
(6)研究費などの総額[該当の状況](本人):無   
(6)研究費などの総額[該当企業名](本人):   
(7)奨学寄附などの総額[該当の状況](本人):無   
(7)奨学寄附などの総額[該当企業名](本人):   
(8)寄付講座[該当の状況](本人):無   
(8)寄付講座[該当企業名](本人):   
(9)旅行・贈答品[該当の状況](本人):無   
(9)旅行・贈答品[該当企業名](本人):   
倫理委員会の承認:(1)倫理委員会の承認を得ている   
発表カテゴリー:31. 基礎系：治療薬等開発研究（前臨床）   
キーワード:   
筆頭演者の姓:浅野   
筆頭演者の名:務   
筆頭演者の姓（ふりがな）:あさの   
筆頭演者の名（ふりがな）:つとむ   
1.筆頭演者の所属機関名:埼友草加病院　脳神経外科   
筆頭演者の所属機関番号:1   
筆頭演者の所属先住所の郵便番号:340-0041   
筆頭演者の所属先住所都道府県:埼玉県   
筆頭演者の所属先住所:草加市松原１－７－２２   
筆頭演者の所属先の電話番号:048-944-6111   
筆頭演者の所属先の内線番号:   
筆頭演者の所属先のＦＡＸ番号:048-944-8080   
筆頭演者の電子メールアドレス:[t.asano@saiyukai.com](https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/rs/webmail2/?mbox=t.asano)   
筆頭演者の電子メールアドレス確認用:[t.asano@saiyukai.com](https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/rs/webmail2/?mbox=t.asano)   
2.所属機関名:埼友草加病院　内科   
3.所属機関名:埼友草加病院　臨床工学部   
4.所属機関名:エーザイ(株) 　NBG\_NT部   
共同演者2の姓:松岡   
共同演者2の名:義之   
共同演者2の所属機関番号:1   
共同演者3の姓:後藤   
共同演者3の名:善和   
共同演者3の所属機関番号:1   
共同演者4の姓:大澤   
共同演者4の名:勲   
共同演者4の所属機関番号:2   
共同演者5の姓:後藤   
共同演者5の名:博道   
共同演者5の所属機関番号:2   
共同演者6の姓:早川   
共同演者6の名:英明   
共同演者6の所属機関番号:3   
共同演者7の姓:小原   
共同演者7の名:隆   
共同演者7の所属機関番号:4   
共同演者8の姓:渡邊   
共同演者8の名:秀樹   
共同演者8の所属機関番号:4   
演題名:   
TNF-α：アルツハイマー病のバイオマーカー並びに治療薬への可能性   
抄録本文:   
【目的】アルツハイマー病の新しいバイオマーカーの探索【方法】透析患者に協力を   
頂き、まず３例で透析前後の血清中Ａβや炎症性バイオマーカーなど様々なAD関連物   
質の測定を行い、可能性のある物質につき更にサンプル数を増やして、透析前後・次   
回透析前の量を測定し、そのWash Outの状況を比較した。【結果】Aβは透析１時間   
後までに適当量が血中から除去されていた。可能性が考えられた物質のうちIL-6・IL   
-10はLLOQとの乖離が大きく測定精度が見られなかった。これを満たしたTNF-α・MCP   
-1・MIP-1βの中でTNF-αのみにＡβ1-40・Ａβ1-42と同様のWash Outが確認された   
。【考察】アルツハイマー病の病因として、アミロイド仮説ではＡβの脳内への沈着   
が謳われているが、また炎症反応の関与も示唆されている。これまでにSink理論によ   
り、透析治療で血液中のAβを除去する事でアルツハイマー病の進行が抑制される可   
能性が報告されている。そこで我々はいくつかの炎症性バイオマーカーについてＡβ   
と同様なWash Outが見られるか検討し、上記の結果を得た。【結論】TNF-αにアルツ   
ハイマー病のバイオマーカーとなりうる可能性が示唆され、抗TNF-α薬のアルツハイ   
マー病根治薬としての可能性が期待された。